学校を花いっぱいに

↑ きれいな花を咲かせるために僕たち一生懸命なんだ

第3向陽小学校では、花いっぱい運動を行っています。

この花いっぱい運動は、各クラスの花だんをたがやし、家からや児童会からもらった種を植えて、どこがいちばんじょうずにさかせるかを競います。

この運動は次の目標で、みんなで守りやっています。

(1) 校庭を花いっぱいにし、美しい学校をつくる。

(2) 花を大切にする心が生まれてくる。

(3) 種まきから種とりまで、クラスみんなが協力して育てる。

(4) しんどい仕事だからといって、なまけずに一生けんめいする。

六月のはじめごろには、かわいい二葉がでて、いま、たねの種類は、全校を合わせると六十五種類ほどあります。めの大きさや形はまちまちですが、これから育てていくと、八月には一人前になり、九月になると、きれいな花をたくさんさかせてくれることでしょう。

早くさかそうと、みんな世話をする係をきめ、毎日がんばって花をそだてています。

児童数 1,028人　27学級

作文

花の学校づくり

四年四組　下野淳美

花いっぱい運動で、私たち四年生全員で、あさがおを植えることにきまりました。

私たちの学級園に植えておいたあさがおの苗をもって、フェンスへ行きました。じょうろで水をまき、どろどろの土を少しほって、苗を植えました。一年生もはちに植えてあったあさがおを植えました。

仲良く植えたあさがおの花の咲くのを早く見たい気持ちです。

わたしの作品

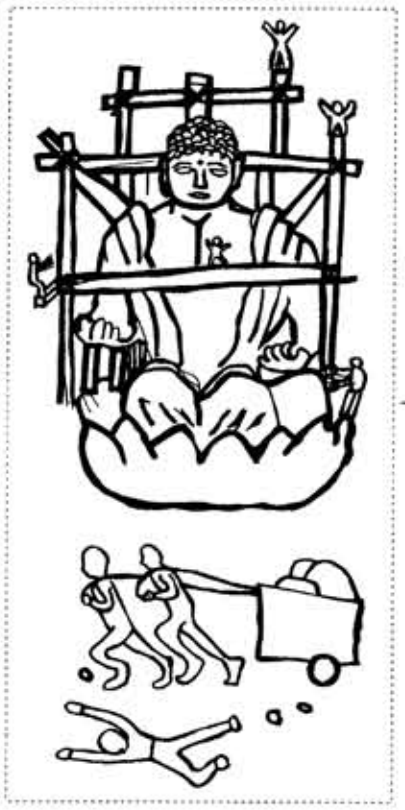
うちのりす

二年二組　山本まゆみ

きょうの朝、りすが、カチャカチャしてたから、六時ごろ、おきてしまいました。うるさいので、「うるさい。」と怒りながらりすにいうと、りすはおどろいて、すの中に入りました。

それから、私が大きな声で、「うるさい。」といったから、みんながおきてしまいました。

そして、私は、お姉ちゃんたちにあやまりました。そうすると、お姉ちゃんは許してくれたけど、お兄ちゃんは許してくれなかった。私は、何回もあやまったけど許してくれないから、りすのところへ行って、私はりすに、「おまえがわるいねんで」と怒りました。



春の体育会

大優勝旗は赤組に

第3向陽校は、六月三日に春の体育会を行いました。

種目は三つあり、自分の力にあった種目に出場します。

今年は、三年から六年まで連合チームをつくり、つな引き、タイヤみこし、対抗リレーを競い合いました。そして全校おどりをしました。

また、応援合戦もあり、自分たちの連合チームが勝つように一年から六年まで、一生けんめいに応援し、応援の部の優勝も競いました。

今年は、みんなが以前からほしいなと願っていた美しい体育大会優勝旗ができ、優勝旗をどの連合チームがもらうか、みんな真けんに競技しましたが、春の体育会は、二組連合チーム（赤組）が優勝しました。優勝できなかった連合チームは、秋の体育大会にはとはりきっています。

春の体育会はとっても楽しい一日だったし、終ってから今までより話したり、遊んだり、あいさつをしたりするようになりました。

詩

大仏つくり

六年二組　平岡靖子

大仏さま、
あなたは知っていますか。
農民たちが、
大仏さま。
あなたをつくるために、
食べ物も食べられないくらい貧しく、
苦しかった生活と、
農民を。
苦しめることしかしない、
貴族の生活との、
大きな差を！

この詩は、六年の社会科の勉強の中で作ったものです。

★じまん話

みんなで楽しく音楽朝会

私たちの第3向陽小学校では、毎月第二・第四月曜日の朝会で、音楽朝会、なわとび朝会などの行事を行っています。その中で、音楽朝会の事を説明します。

音楽朝会とは、兄弟学級（一年と四年、二年と五年、三年と六年）で、合そうや合唱をすることです。そして、今年は、特別に器楽クラブが器楽合そうをします。

音楽朝会の目的は、

(1) 兄弟学級といっそうつながりをもち、仲良くなる。

(2) 音楽がじょうずになり、また好きになる。

(3) 朝会が、楽しくなる。

曲目を選ぶのは、各クラスのみんなの話し合いで決め、学級委員が、その意見をもちよって、曲目を決定します。

曲目が決まれば、朝や休み時間を使って、低学年の各クラスへ兄弟学級の高学年の学級委員や学級の代表の人が教えに行きます。

この音楽朝会をするようになってから、笛がうまくふけなかった人が、みんなに教えられて、じょうずにふけるようになりました。

これからも、楽しい音楽朝会になるように、みんなで話し合い、音楽を通じて、たくさんの友人をつくっていきたいと、一生懸命です。